

環境問題への取り組み

環境問題、特に地球温暖化対策への取り組みは、企業の社会的責任と捉え、環境に与える負荷をできる限り小さくするとともに、社内の環境意識向上に取り組んでいます。お客さまとともに安心して豊かに暮らせる「社会」や「環境」を育み、守っていけるよう積極的に環境保全に取り組んでいます。

全社的な省エネルギー対策の推進

社内では、空調運転(温度設定・運転時間)に関する目安をはじめ、エネルギー使用機器に関する基本推進事項(昼休み・不在時の消灯・減灯、近隣フロアへの階段移動等)を定め、徹底を図るとともに、その促進のための諸対策(社内報・イントラネットを活用した従業員の省エネルギーに対する意識・行動の啓発、節電啓発ステッカーの配付、クールビズの実施等)を実施しています。

全ビルの総エネルギー使用量の状況

	2010年度	2011年度	2012年度
エネルギー使用量(原油換算kl)	80,665	70,202	68,335
電力使用量(万kWh)	28,846	24,866	24,143
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	140,623	115,921	130,766

※「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(省エネルギー法)に基づき算出(営業用、投資用、営業・投資兼用ビルの総エネルギー使用量)

VOICE

オフィスビルの運営面からも環境負荷の低減に努めています

事業活動に伴う環境負荷の低減に向けて、当社では、所有ビルのエネルギー使用量の管理と効率向上に継続的に努めています。全国の営業用ビルおよび投資用ビルにおいて順次、空調等の設備改修や省エネルギー機器の導入を進めるとともに、入居テナントの協力を得ての設備運用面の対策等にも取り組んでいます。なかでも、本社機能を有する丸の内 MY PLAZA(明治安田生命ビル・明治生命館)と明治安田生命新東陽町ビルは、環境配慮型ビルとして、その省CO₂性能が外部機関からも高い評価を受けています。

丸の内 MY PLAZAは東京都環境確保条例における「トップレベル事業所」(地球温暖化対策の推進の程度が特に優れた事業所)に認定され、新東陽町ビルは建築物の環境性能を公的に評価・格付けする「建築環境総合性能評価システム」最高ランクのCASBEE-Sランクを取得しており、両ビルでは温室効果ガス排出量の中期的な削減目標を定め、各種エネルギー設備の効果的運用等を通じ継続的に環境負荷軽減に取り組んでいます。



不動産部
不動産業務グループ
グループマネジャー
吉田 博文

環境に配慮したオフィスビルの取り組み

全国にある当社所有のビル11棟の屋上、計7,007平方メートルを緑化しています。屋上緑化は、ヒートアイランド現象を緩和するとともに、断熱効果によってビルの空調に使うエネルギーを減らすことができます。

TOPIC

全国の自社ビル約600棟にビルエネルギー管理システム(BEMS)を導入

2013年度より、ピーク電力抑制および省エネルギー推進への着実な対応を図るため、全国の自社ビル約600棟を対象に、順次、ビルエネルギー管理システム(以下、「BEMS」という)を導入しています。2014年度末には全対象ビルにおけるBEMS設置工事の完了を予定しており、2015年度からは自社ビルのエネルギー管理体制の構築をめざしています。

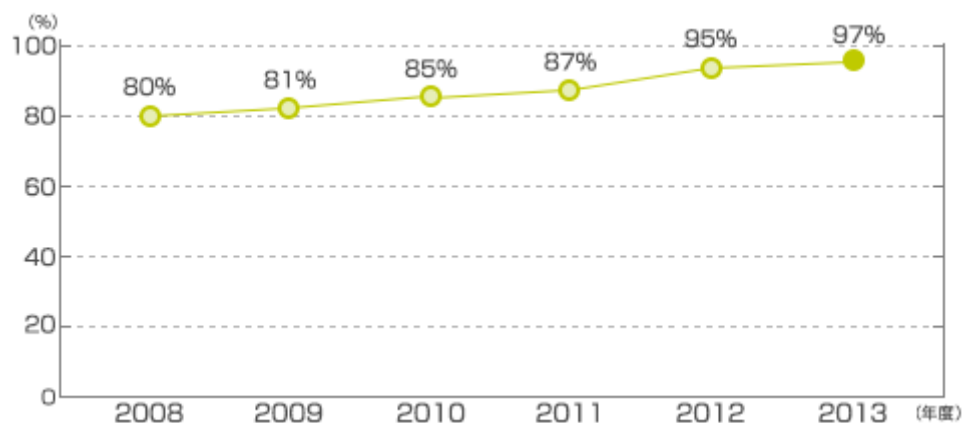
※ ビルエネルギー管理システム(BEMS)について

建物内で使用する電力使用量等を計測蓄積(「見える化」)することで、電力使用の効率化を図るエネルギー管理システムです。また、空調・照明設備等の自動制御やピーク電力の抑制を図ることが可能となり、電力需給ひっ迫時には、事前設定した節電パターンを実行することで電力使用を自動的に抑制します。なお、BEMSとはBuilding and Energy Management Systemの略称です。

社用車へのエコカー(低公害車)の導入

社用車を順次、エコカー(低公害車)に切り替えています。2013年度は社用車をさらに効率化するとともに電気自動車・ハイブリッド車への一部入れ替えを行ない、エコカー(低公害車)の合計は98台と車両総数の97%を占めています。

低公害車の導入率



廃棄物の分別・リサイクル

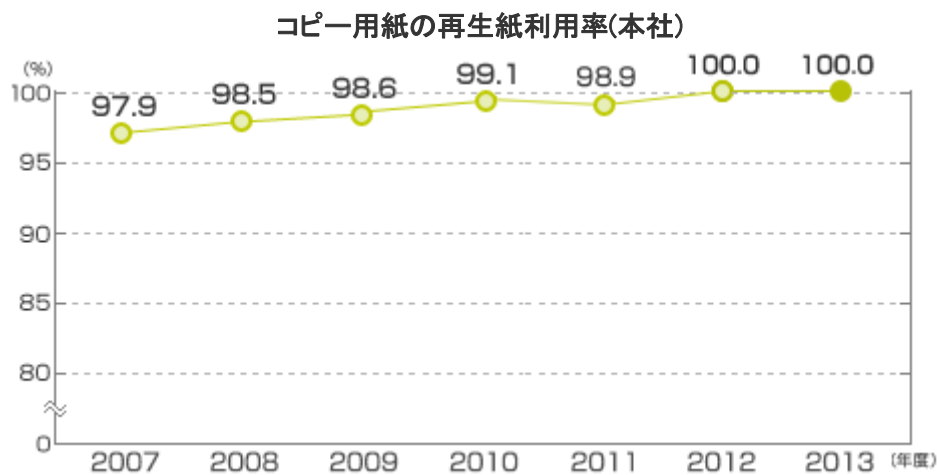


リサイクルボックス

本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取り組んでおり、2013年度のリサイクル率は89.8%となっています。

OA用紙使用量の削減

本社では、社内横断的な文書共有と情報交換のための「電子文書管理システム(e-ファイリング)」、ならびに会議時のプロジェクター使用によるペーパーレス化の推進、両面コピーや縮小印刷の徹底などの取り組みを行なっています。また、各所属のコピー用紙削減遂行状況を適宜ニュース化し、イントラネットで開示することにより、意識の向上と取り組みの促進を図っています。



印刷物の環境配慮対応

お客さま向け各種資料・報告書など各種印刷物では、省資源の観点から紙の原材料に配慮し、インク、製版など、印刷工程についても環境に配慮した取組みを行なっています。具体的には製版フィルムを使用しない印刷方式の選択、生分解性に優れた植物油インキ使用等を推進しています。

紙資源の使用削減による省資源化推進を目的の一つとして、2011年10月から、当社の主力生命保険商品である「ライフアカウント L.A.」において、約款部分のCD-ROM化を実施し、2013年度で約420tの紙使用量を削減しました※。なお、総合保障商品である「ライフアカウント L.A.」をさらに進化させ、2014年6月に発売した「ベストスタイル」では、約款部分をWEB化し、省資源化を引き続き推進していきます。

※削減量は、約款改訂時の制作にかかる紙使用量をCD-ROM化しなかった場合と比較して試算



ご契約のしおり 定款・約款
ベストスタイル



MY Web約款

環境配慮型事務用品の購入

本社、支社および営業所等で使用する事務用品については、エコマーク商品、グリーン購入ネットワーク(GNP)掲載商品、グリーン購入法適合商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを構築しており、2013年度の環境配慮型商品購入率は、金額ベースで86.7%(前年比-1.5ポイント)と2010年度のシステム導入後から継続して高い水準を保っています。また、本社コピー用紙・プリンタートナーでは、100%グリーン購入法適合商品を購入しています。

今後も同システムの活用等を通じて、全社を挙げて、事務用品での環境配慮型商品の購入を進めていきます。

環境に対する意識の向上

政府・金融庁からの夏期節電要請もふまえ、7月～9月を全社統一の「節電強化月間」として運営しました。室内温度の調整(28℃)等の全社的な推進事項を定めて通知するとともに、従業員の環境に対する意識と行動の啓発に向け、2013年度は、社内イントラネットを活用した「節電行動チェック」の実施や本社ビル勤務者にはパソコン用の「節電推進シール」、全国の支社・営業所等には執務室内貼付用の「節電推進ステッカー」を作成・提供しました。



本社ビル勤務者用「節電推進シール」



支社・営業所等の執務室内用「節電推進ステッカー」

環境に配慮した社会貢献活動

子どもたちの環境への意識を高め、環境保全にも貢献するような社会貢献活動を推進しています。例えば、小中学校の環境教育に貢献する「全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」に協賛しています。またNPO日本渚の美術協会とともに海岸清掃を行ない、拾った貝殻やガラス、海藻などを用いた「海の環境工作教室」を開催しています。

また、各地の支社・営業所でも、地域の美化や自然環境保全を目的とした清掃活動・植樹活動、循環型社会形成を目的としたペットボトルキャップやプルタブの回収、その他古本や使用済み切手の回収などのリサイクル活動など、さまざまな環境保護・生物多様性保全に向けた活動を行なっています。

関連情報

- ▶ 全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクールの協賛 P126
- ▶ 海の環境工作教室 P114
- ▶ 地域社会への貢献をめざして P128